

下関市慣行追加制定(案)

パブリックコメント

目 次

下関市慣行の追加制定について(案)

〔資料〕

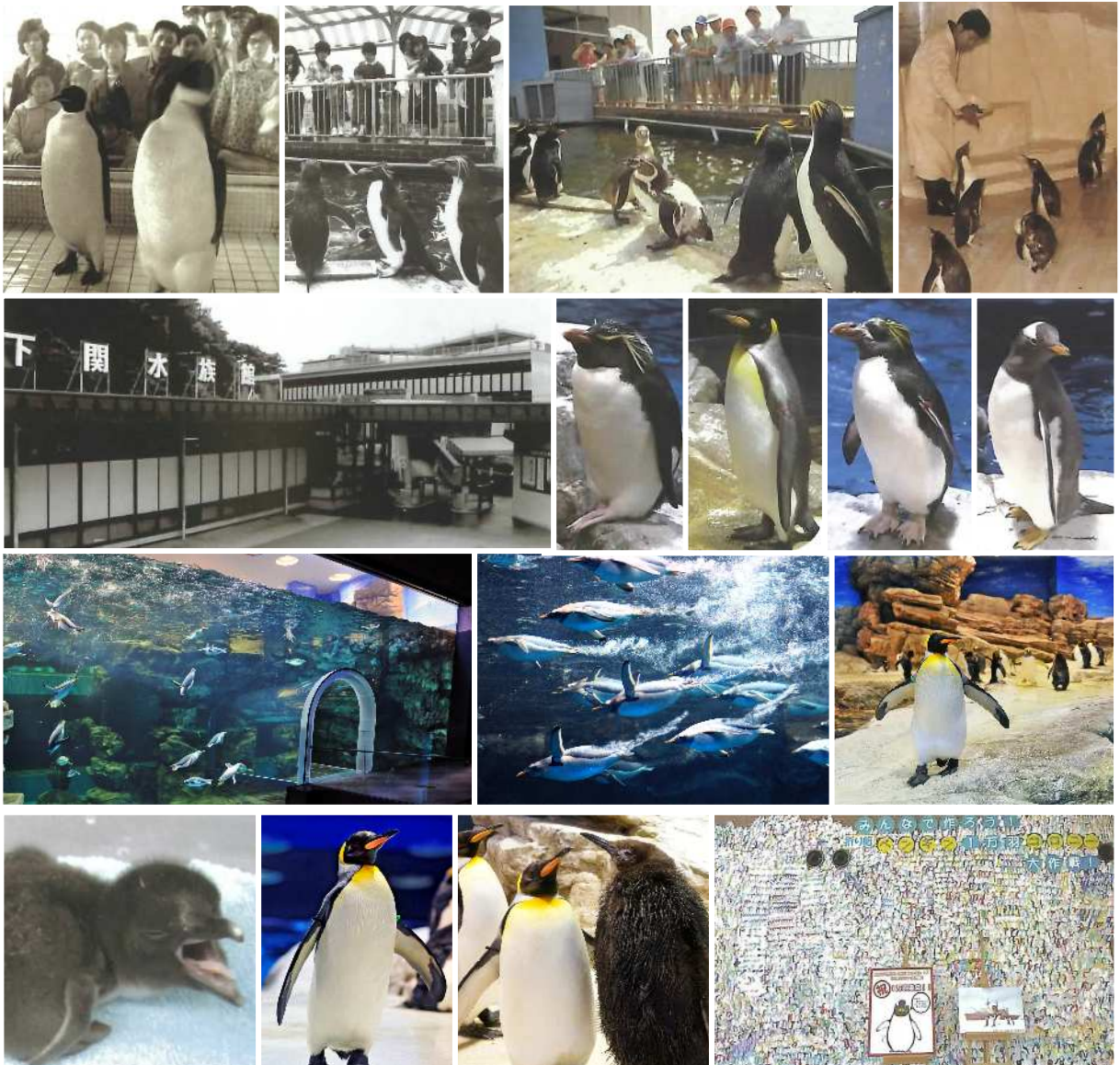
1. 制定の目的・背景
 - (1) 市の鳥を制定する理由
 - (2) 市の鳥をペンギンにしようとする理由
2. 現在の市の慣行
3. 下関市とペンギンの関わりの歴史

下関市総合政策部企画課

下関市慣行の追加制定について（案）

下関市の慣行として、以下を追加制定する。

下関市の鳥 ペンギン



1 . 制定の目的・背景など

(1) なぜ慣行を制定するの？

慣行を制定する目的は、下関市と関わりの深い大切なものをシンボルに定めることで、下関らしさをアピールするとともに、地元に対する愛着を深めることにあります。

(2) なぜ今、追加制定するの？

本格的な人口減少社会が到来する中、2040年までに人口流出が進み、住民、特に子供を産むことのできる若い女性が半減する地域は、将来的に消滅する可能性があると言われています()。

本市においても例外ではなく、人口減少への取組みは最重要課題です。

下関市のシンボルを新たに制定し、市民が愛着と誇りを感じ「住み続けたい」と思うまちづくりに活かしたいと考えています。

「消滅可能性都市」:

2040年までに、20～39歳の女性人口の50%が減少する地域は、将来的に消滅する可能性があることを、平成26年5月に民間の研究機関「日本創成会議」が提唱したもの。全国の自治体の約半数がこれに該当。下関市の減少率は48.4%。

(3) ペンギンと下関のつながりは？

昭和32年に、旧大洋漁業の捕鯨船が下関港に入港し、旧水族館にエンペラーペンギンが寄贈されて以降、ペンギンはたくさんの方々に親しまれています。

約60年にわたる関わりの歴史を年表にしました。資料「3.下関市とペンギンの関わりの歴史」をご覧ください。

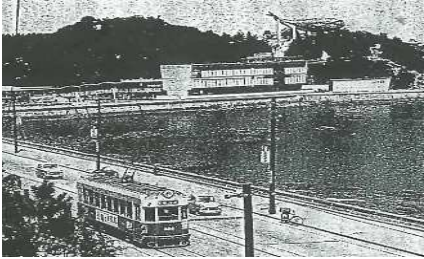



資料

2. 現在の市の慣行

7項目8種類を制定しています。

<p>市の花 ハマユウ</p> <p>ハマユウは、日本の暖地海岸に分布する常緑の多年生草です。ハマユウを中心とした吉母海岸植物群落は市指定文化財、県指定の天然記念物です。</p>	
<p>市の木 クスノキ</p> <p>クスノキは、市内に広く分布し、環境に強く寿命が長い木です。豊浦町にある「クスの森」は、国の天然記念物です。</p>	
<p>市の花木（かぼく） ツツジ サクラ</p> <p>ツツジとサクラは、市民投票で多くの票を集めました。下関市内のいたるところで見ることができ、広く親しまれている花木です。なお、ツツジ、サクラに関しては、個別の品種ではなく、総称としての名称を採用しました。</p> <p>ツツジは、低地から高地まで広く自生し、常緑、落葉の低木です。公園など市内各所に咲き色鮮やかです。</p> <p>サクラは、日本の代表的な花として広く親しまれています。</p>	
<p>市のシンボルマーク フクフクマーク</p> <p>フクを愛らしく、親しみやすく表現しています。囲みの円は下関の頭文字「し」とダイナミックな海の波を表しています。</p>	
<p>市の魚 フク</p> <p>フクは、取り扱い量日本一を誇る下関市を代表する魚です。</p>	
<p>市の虫 ホタル</p> <p>下関市においてホタルに関する保護条例を制定しています。また、豊田町にはホタルの里ミュージアムがあります。</p>	
<p>市の動物 クジラ</p> <p>近代捕鯨の発祥地である下関市は、クジラと深い関わりがあり、現在も、くじら文化の情報発信や市民への普及啓発を積極的に行い、「くじらのまち日本一」を目指しています。</p>	







3. 下関市とペンギンの関わりの歴史

年代		内容	その他のできごと
西暦	年		
1956	昭和 31	 <p>【開館当初の旧水族館】</p>	旧下関水族館 オープン
1957	昭和 32	下関港に入港した捕鯨船よりエンペラーペンギン1羽を搬入し初展示 (寄贈:旧大洋漁業株式会社)	 <p>【昭和 32 年に公開されたエンペラーペンギン】</p>
		フンボルトペンギン、アデリーペンギンを初展示	
1958	昭和 33	旧下関水族館に『ペンギン館』新設	 <p>【入口前広場から旧水族館本館を望む】</p>
1959	昭和 34	ヒゲペンギン初展示	 <p>【昭和 36 年に初公開されたジェンツーペンギン。先進的な飼育展示を実施していました。】</p>
1960	昭和 35	イワトビペンギン初展示 日本で 2 羽目	
1961	昭和 36	ジェンツーペンギン初展示 日本初	
		マカロニペンギン初展示	
1962	昭和 37	コガタペンギン初展示 日本初	
		キングペンギン初展示 フンボルトペンギンが誕生	

資料

年代		内容	その他のできごと
西暦	年		
1969	昭和 44	 <p>【旧水族館とマリランド(平成 11 年撮影)】</p>	下関マリランド オープン
1976	昭和 51	 <p>【にぎわう旧水族館】</p>	旧下関水族館 入館者累計 1,000 万人達成
1983	昭和 58	マゼランペンギン初展示	 <p>【日本で初めて繁殖に成功したマゼランペンギン】</p>
1984	昭和 59	イワトビペンギン誕生 日本での繁殖例はまれ	
1988	昭和 63	マゼランペンギン誕生 日本初 (日本動物園水族館協会の「繁殖賞」を受賞)	
1999	平成 11	 <p>【旧水族館 正面入口】</p>	旧下関水族館 入館者累計 1,700 万人達成
2001	平成 13	 <p>【海響館開館セレモニー。開館日は入館を待つ人たちが 3 キロの行列ができました。】</p>	海響館オープン
2003	平成 15		下関水族館からの入館者累計 2,000 万人達成

資料

年代		内容	その他のできごと
西暦	年		
2005	平成 17	日本一のマカロニペンギンコロニー(群れ)が誕生	 <p>【日本一のマカロニペンギンコロニー】</p>
2007	平成 19	『ペンギン村』工事開始	
2008	平成 20	ペンギンシスターズ結成	
		下関市環境部キャラクター「エコペン」誕生	
		『折り紙ペンギン1万羽コロニー大作戦』開始	
海響館ペンギンキャラクター「ペン太」誕生			
2010	平成 22	『折り紙ペンギン1万羽コロニー大作戦』1万羽達成 (多くの市民、幼稚園などの団体、一般来場者が参加。)	
		『ペンギン村』 オープン	
		チリ国立サンチアゴ・メトロポリタン公園と協力協定締結。同公園から『生息域外重要繁殖地』指定を受ける。	
		『ペンギン村』がNPO法人 市民ZOOネットワークのエンリッチメント大賞を受賞	

資料

年代		内容	その他のできごと
西暦	年		
2011	平成 23	ペンギンキャラクター「ペン太」に4種が追加。『ファニーペンギーノ』としてユニット結成。	
		消防団キャラクター「モセキ君」誕生	
2012	平成 24	消防団キャラクター「コモセキくん」誕生	